

# 古文書から歴史をひもとく・未来へのこす

—地域をつなぐ調査・研究とパネル作成まで—

令和6年度 第2回歴史講演会

2025年

(開場 12:30)

3月1日(土) 13:00-15:40

講演  
会場

四条リージョンセンター やまなみプラザ 2階多目的ホール  
(東大阪市南四条町1番7号)

詳しくは…

東大阪市 文化財課 歴史講演会

## 講演内容

### 第1部

「旗本三好領の行政機構  
—横小路村山川家文書を素材として—」

東谷 智 (甲南大学文学部歴史文化学科教授  
/歴史文化研究センター研究代表者)

江戸時代の横小路村は、1つの村に3人の領主がいる村でした。こうした村を「相給村(あいきゅうそん)」と呼び、具体的には相模国小田原藩、旗本三好家、旗本石川家の三領主が横小路村を三分割して支配していました。

本講演では、相給村の基礎的な事柄を解説するとともに、旗本三好家領の行政の仕組みについて具体的な事例をお話します。なかでも、村人にとって非常に身近な税金の賦課と納税や、法令の伝達、領主による村の視察などについて詳しく紹介します。

### 第2部

古文書解説(古文書&パネル展示)

東谷 智、東大阪市古文書調査員、甲南大学生

第2部では、展示された古文書について解説をします。

解説する古文書は、第1部の講演で用いる山川家文書が中心となりますが、他にも横小路村の絵図や、横小路村で発行された銀札(「山川札」)など、多様な古文書を間近で見いただけます。

また、展示された古文書について、歴史の研究者の目線から史料を読み解く様子もご覧ください。

定員：50名

入場無料

事前申込み不要  
当日先着順

## 交通アクセス

近鉄奈良線「瓢箪山駅」下車  
南へ約500m

※車でご来場の場合、建物内の駐車台数が  
限られております

※公共交通機関をご利用ください

